

## 少女像作家に問う！ 少女の髪の毛は誰が切ったのか？

【第 25 回国民行動記者会見文】（金柄憲：韓国国史教科書研究所所長）（2021.4.7）

少女像作家キムウンソン（金運成）、キムソギョン（金瑞景）夫妻は作家・ノート"おばあさんたちは 1991 年から'私は強制連行された日本軍慰安婦被害者'と告白して、日本の侵略戦争の残酷さと幼い少女たちを性奴隷に転落させた日本のずうずうしさを満天下に告発しました。"でこう述べた。

さらに、「日本が強制的に国家組織を動員して朝鮮の幼い少女たちを戦場に送り出し、性的暴行と暴力を躊躇なく行った戦争犯罪の歴史を悟らせ、これを韓国の日本大使館の前に置くことで恥辱の歴史を直視させようとなりました」とも述べた。

そして慰安婦少女像の髪の毛について"少女たちが騙されて到着したのは工場ではなく、異国の見知らぬ所、日本軍部隊内の慰安所でした。「長い髪は要らないと言って切られ、そのようにして少女たちの懐かしい家族と故郷の地との縁も、髪の毛とともに無残に途切れていきました。母と父は夢でしか見られないのに、仲間たちは少女の名前を呼びませんでした。このように少女たちの意思とは関係なく、縁が切れたことをバツサリ切られた髪で表現しました」と語った。

しかし、このように金氏夫婦が言った慰安婦の実状は嘘で捏造であり、切られた髪の毛で表現された少女と親との縁を切ったのも日本軍ではない。

金氏夫婦は、慰安婦少女像を通じて'日本の侵略戦争の残酷さと幼い少女たちを性奴隷に転落させた日本の開き直り'を告発したというが、朝鮮の少女が'日本の侵略戦争の残酷さ'と何の関係があり、また、幼い少女を日本軍の性奴隷としたが、**基本的に幼い少女は、日本軍慰安婦になることはできなかったのに、どうして日本軍性奴隷としているか説明しなければならぬ。**

たとえ、少女ではなく成人の慰安婦だったとしても、彼らは、慰安所規定に定められた費用（料金）を受け（取っ）て性的サービスを提供する売春婦であり、日本軍は、所定の料金を支払って定められた時間の間、慰安婦と性的欲求を解消する顧客に過ぎなかった。ところで**どうして慰安婦が'日本軍の性奴隷'と言えるのか金氏夫婦は説明しなければならぬ。**

この夫婦が言う慰安婦の実状がウソであることは、挺対協で発刊した証言集に掲載された慰安婦の証言ですべて確認することができる。

最初に自分が慰安婦であることを告白し'慰安婦被害者を称えるの日'制定になる契機を提供した金学順ハルモニは、養父に40円で売られて2年間の平壤妓生学校教育を終えた後、お金を稼ぐために養父について中国に行った。金氏が出発する日、母親は「黄色いセーターを買って平壤（ピョンヤン）駅まで見送った」と証言した。数多くの証言を覆し、「朝変夕改」というニックネームが付けられたイ・ヨンス氏は、最初から赤いワンピースと革靴に魅せられ、自分でも知らないうちについていったと言い、自分たちを大邱から台湾の慰安所まで連れて行った人が慰安所の主人だと言い、彼らは彼を「おやじ」と呼んだと証言した。「**おやじ**」と呼ばれた慰安所の主人が女衛でなければ一体誰なのか。

慰安婦として国民勲章牡丹章まで受勲した金福童（キムボクドン）氏は挺身隊の名目で公務を詐称した詐欺師について行き、その際、親が承諾する印鑑まで押したと証言した。また平壤妓生学校に通ったことのある吉元玉氏は13歳の時、肉屋に20ウォンで売られ、満州に行き、売春宿で2年間働いて性病にかかって帰ってきた。帰国後、しばらく工場に勤めていたが、15歳の時、再び妓生学校の友だちと一緒にお金を稼ぎに鴨緑江を渡った。吉氏が去る時、母親は貧しい暮らしにもかかわらず、緑色のスカートと朱色のチョゴリを持たせてくれたと証言した。

この四人だけでなく、女性家族部に登録された、いわゆる'日本軍慰安婦被害者'240人のうちに誰が日本軍に連れて行かれ、誰が日本軍によって親子の縁が切れたのか？金氏夫婦は、幼い子どもを物のように売った人が誰で、子どもの背中を押して、駅まで連れて行って、きれいなチマチョゴリを用意してくれた人が誰なのか知っているのか、**一体どうしてそんな途方もない嘘をつくのか。**

金氏夫婦は、少女像の構想過程でも、自身の幼い娘と話をし続け、作業を進めたという。結局、金氏夫婦は11歳の娘に成人の領域である売春婦について真実ではない嘘を教え、歪曲と憎悪のシンボルである慰安婦少女像を誕生させたのだ。**よって、金氏夫妻に厳重に問う！**

**1.親と少女の間の縁を切った人は誰か？**

**2.あなたたちの邪悪な慰安婦の歪曲と捏造行為が怖くはないのか？**

**3.幼い娘に本当に恥ずかしくないのか？**